



日本共産党
北茨城市委員会
選挙区 豊田1(030-2)
13-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週日曜日発行

お問合せは上記へ

市商工会主催
賀詞交歓会

あいさつで各氏が率直な意見 市長は後期高齢者医療制度を批判

新春恒例の賀詞交歓会が市商工会の主催で1月10日に開催されました。会場となった商工会館には、国会議員ほか市内各界から約百名が出席しました。

とっては今まで以上に厳しい年となる。しっかりと会員を支援していきたい」と述べました。

主催者あいさつで長瀬博司商工会長は「ジャスコ跡地へのマルチ開店、中郷地区へのヤマダ電機出店計画など大型店の進出が相次ぐなかで、市内の商工業者に

来賓あいさつで豊田市長は、大島(民主)、岡部(自民)の両衆院議員を前に、「副市長(助役)がいけないので、なかなか国会に行けない。行ったら他の人に市長のイスに座られてしまう」と笑いを誘いながら、国会の先生に注文があるとして、



祝・成人

1月13日、祝典会場(白浜会館)

「4月から実施される後期高齢者医療制度は、市の負担増が2億1千万円。高齢者1人当り年6万円の税負担であり大変である。党派を越えて改善に取り組んでほしい」と注文を付けました。



主催者あいさつをする市商工会の長瀬博司会長。

さらに「市民1人当り12万円の市税を頂きながら、1人当り2万5千円しか拠出していない。5万円ぐら

用は430人で定住人口の確保につながり、市もようやく芽が出て、花が咲く」と述べました。

参加者からは「例年の形式はあったあいさつではなく、率直に直面する課題が述べ

ソリンの暫定税率については「道路整備は地域の発展にもつながり、継続のご理解を」と応酬しました。また、志賀市議会議員は、「南中郷工業団地へ2社の誘致が決定。雇

続いてあいさつした大島衆院議員は「三位一体の改革で地方は税減になり大変。漁業、加工組合からも原油代をどうかしてくれと要望されている。ガソリンの暫定税率は廃止すべき。霞ヶ関の埋蔵金を使って原油高騰の対策をはかるべき」と、発言。



市女性連盟の主催で

「市長と話してみませんか」

1月12日、ふれあいセンターにお

いて、市女性連盟主催の「市長と話してみませんか」が約150名の参加で開かれました。豊田市長は、冒頭に自らの12年間をふりかえった後、市政全般について、持ち時間を超過しつつ、縦横に語りました。市立病院の問題については、医者確保に奔走していること、赤字を4億5千万円(住民一人当たり1万円)程度に抑えてから、新病院建設を考えたいという方向

が示されました。職員の大規模削減は公約どおり実行したいとし、副市長職もおかずにやっていきたい旨を話しました。具体的な課題として参加者に提起していたのは、会場ともなった「ふれあいセンター」の改修の件です。音響効果を含めた改修と椅子の改善を検討しているとのこと、参加者に意見を聞きました。講演の後は、質疑となり、出席した市の幹部もそれぞれのテーマに即し、答弁に応じました。参加した鈴木康子議員は、「ふれあいセンターについては、広く利用者の意見を募り、よりよい改修をめざしてほしい」と語っています。

ご相談はお気軽に



市議会議員
福田 明
☎ 43-0468



市議会議員
鈴木康子
☎ 42-2462

「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>

Windows Vista(IE7)などなら、いま試験的に
<http://www.北茨城.jp>でもアクセスできます。